世界をひとつに　すすむメーデー準備

―何がとび出す仮装行列（三鉱）―
―メーデー攻勢へ　全員鉢巻で参加（三染）―
―有給休暇で全員参加を（自労）―

いま全世界のすみずみで、五月一日の平和と生活を守るためのメーデー準備がすゝめられている。プラカード、メーデー歌、仮装行列など職場で、町で、サークルで自主的に話し合い、仕事がはじめられている。

三鉱労組 は例年圧倒的な大衆動員と、趣向をこらした飾り物やプラカードなどで大会を賑わしているが、今年も各支部それぞれに秘策を練り、アツと云わせようコンタン、どんなものが飛び出すか当日蓋をあけるまでのお楽しみとされているが、その一端を紹介すると四山支部が直径二メートルの大地球儀に白鳩をとまらせ、世界平和をあらわした大デコレーションをかつぎ出すほか地域分会毎に仮装、プラカードなど意匠をきそい、目下張切つて準備にかゝつている。

三染労組 では五月一日を転機として、本来の賃増に期末手当の要求も合せ、いよ〳〵攻勢に出る意図をもつてメーデー準備を始めている。

まず新しいハチマキをキリヽとしめて約三千人の動員対策が立てられており、更にプラカードコンクールも催すことになつているが、既に「今年こそ一位入選を」とプラカード作製に秘策を練つている職場支部もあつて、そのにぎわいが期待されている。

第二組合も　全員参加

自由労働組合 では全員有給休暇でメーデーに参加させろと要求、組合員の署名運動が職場ですすめられている。この要求には日の丸会、厚生会、第一組合も一丸となつて当局に要求、団交の後一部代表参加を認めさせた。同労組ではおねばり強く全員参加の要求で闘つている。

メーデー大売出し

商工互助会、センイ業者も大地評のよびかけに応じメーデー大売出しでもやろうかと一部では話合つている。

スワ川農民も初参加

スワ川の水利問題で三井財閥と、なお闘つている農民たちも、三池炭労をはじめとする労働者の闘争支援に涙を流して感謝、今年のメーデーには、要求もつて参加すると云つている。

コーラス、劇団でも

劇団ぱぐるま、表現座各職場コーラスの人たちはいそがしい仕事の合間に前夜祭をめざし猛ゲイコをつづけている。

記録映画準備

それと同時に映文協では大地評、三鉱労組などと協力してメーデー当日を中心に前夜祭、各職場のもり上り、炭婦協、社宅風景などを撮影して「五四年大牟田地区メーデー記録映画」の撮影準備をすゝめている。なお全国的にもメーデー記録映画の撮影準備がすゝめられており、九州では福岡はじめ、北九州、筑豊などでも計画がすゝめられており、全国的なメーデー記録映画の編集の話も出されている。

「要求貫徹」の鉢巻て

【三染】当日はニュース・カーを借りて気勢をあげ、参加者全員には「要求貫徹」と染めぬいたタオル鉢巻きで参加、いまプラカード作りに大わらわ。

染めぬき鉢巻て

【電産】そろいの染めぬき鉢巻きをしめて参加、各職場毎に赤旗をもつというにぎわい、こゝでもプラカード作りがはじまつている。

授業ふりかえ？

【教組】当日は授業日なので「授業ふりかえで何とか全員参加できないものか」と研究中。

手に手に風船を

【電化】参加者には手に手に風船をもつて…という趣向、プラカード作りをはじめている。

市勞連　ぜひ全員の参加を

市労連は、このほど結成された大牟田地方官公労の中心として、こんど民間労組との共闘、農漁市民との団結など地域統一をめざして闘つている。メーデーには「ぜひ一人のこらず参加したい」とつぎのように語つた。

「わたしたち公務員も労働者です。ぜひ全員参加したい。とくに公務員は法律で組合活動が制限され、不利な闘いです。吉田政府が資本家の手先でしかない今日、強固な団結以外には自らの生活は守れない」

大牟田でも官公労結集

大牟田の教組、全逓、全電通などの間では全官公労組協議会を結集しようとの話合いがすゝみ、地区統一闘争の強化が期待されている。

うたとおどりの前夜祭

＝25、30日に労働會館で＝

メーデーの前奏曲として大地評、文連協、映文協などではかねてから盛りあがる働く者の要望にこたえて、二十五日には大前夜祭、勤労者美術展を、さらに三十日小前夜祭を労働会館で次のように開催することになつた。

▽大前夜祭

①全員合唱

②ブラスバンド＝製作所楽団

③寸劇＝劇団ぱぐるま、表現座では徹夜まではゆかなくとも毎日のように諷刺と笑いの練習に余念がない。

④歌唱指導＝中央合唱団今藤氏

⑤コーラス＝各組合より選出の合同合唱団、映文協歌う会、歴木おんちコーラス、三鉱、国鉄、教組、炭婦協の組合歌、また柳川赤玉労組も出演

⑥詩の朗読＝映文協、大地評の詩研究会で集団創作したもの。

⑦幻燈、映画＝闘う三池労働者、及び一九五三年メーデー

▽小前夜祭　①コーラス　②室内楽＝東圧ハワイアンバンド　③演劇＝「腕をかえせ」（劇団ぱぐるま）　④映画（幻画と劇映画の予定）

原・水爆はごめんだ

炭婦協　自由労組　で平和署名

世界平和會議に代表派遣

去る九日飯塚市商工会議所でひらかれた福炭婦協定例大会に三池炭婦協から緊急動議として原、水爆実験の即時停止と国際管理を提案満場一致採択され、全組織をあげてこれが署名運動を展開することとなつたほか、近くストックホルムでひらかれる世界平和会議に福炭婦協としては会長北幸子さんをおくる事を決定して居るので、この機会に原、水爆問題を世界に訴えて二度と被害をこうむることのないよう強く要請する方針を決めて居る。なお署名簿が、この程とゞいたので近く街頭にも進出し、大々的に運動を展開することになつた。

自由労組でも「弁当の魚のおかず」から原、水爆の話が出た。とくに未亡人の間で、原爆戦争はいやだの声が強くおこつている。この中から平和署名や平和の集りがもたれている。

ドイツの平和切手　原爆禁止の訴え

ERKÄMPFT DEN FRIEDEN
12
DEUTSCHE DEMOKRATISCHE REPUBLIK

死の灰（詩）

加藤せつを

上昇気流にのつて
ひろがり
しづかに
しづかに
空間を盈たし
生物や植物のあひだに
しみこんでゆく

地球を蔽ふ
青と緑があせ
野にこもる
花の匂ひが消え
生きるもの動くもの
影をひそめ
碧いだけの海と
焦色の陸地のひろがりに
日は音もなくさん〳〵と照り
どこまでも
どこまでも
空転する　時間だけが

（二九・四・一三）

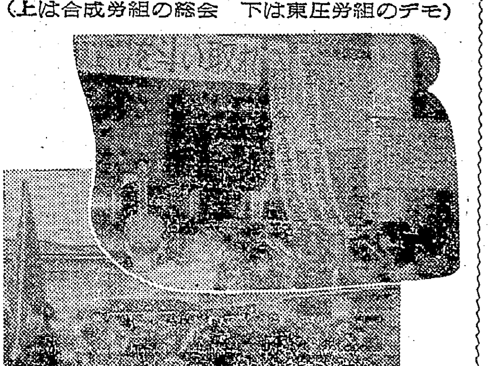
雨の中を激励

合成大会に東圧のデモ

合成労組の総会は十七日労働会館でひらかれたが、この総会に現在同労組と共闘中の東圧労組のデモ隊約百五十人が折からのドシヤ降りの雨の中をデモで激励した。合成組合員はいたく感激、つぎのように語つた。

「思わず眼頭がジーンとなつて嬉しかつた。あんな事が一番勇気づけてくれ、共闘のありがたさを感じさせます」

（上は合成労組の総会　下は東圧労組のデモ）



赤玉勞組　百廿日目に妥結

頑張り抜いた乙女たち

百二十日間、血みどろの闘いをつづけてきた赤玉被服労組（約八十名）は二十一日「八十五万円支給」地労委の斡旋で、ついに妥結した。組合員のほとんどがうら若い乙女たちであるが、働くものの誇りと団結で長期ねばり強く闘いぬいてきた。彼女らに絶讃の拍手を送ろう。

これは十九日地労委が中に入つて休業保障引当金として一月から四月まで平均賃金の六〇％に六十九日を乗じた額プラス一八千円の慰労金プラス、ミシン三十台（一台八千の評価）合計八十五万円支給案その他が出された。組合はこの斡旋案には非常に不満で、組合員にはからなければ返事できないと回答。会社側は二十日午前二時頃になり、現金のみで七十万円支給の案をもつて解決したい旨意志表示。組合はますます不満を持つた。組合は会社原解案を蹴つて二十日組合員総会を開いた結果、地労委の斡旋案なら呑んでいゝとする多数の意志により地労委を通じて再度田中社長に組合側意志を通じた結果　田中社長が認めたもの。

職場斗争こそ前進の基礎

激しかつた切崩し

デマとオドシあの手この手

三染

今度の三染労組の賃増闘争は、何といつても職制の闘争切り崩しが激しかつた。だが、この事はかえつて、三染労働者の解き難い怒りを固定し、将来の闘争の一層の激しさが展開される、以下切り崩しの実際について見る事にしよう

つくられたデマ

デマの種子となつたものは、海のものとも山のものともつかない社長の言葉で、職制はこれをとり上げて、次のデマをデッチ上げた。

「七月賃増を石田社長が言明した今は、染料も売れないし時期が悪い。折角こゝまで来た三井化学がまた逆もどりする。そうなると、不幸は組合員自身の上に、ふりかかつて来るのだ。だから七月まで待つが賢明だ」

しかし、これでも闘争を押え切れないとわかると、今度は「五月ごろ期末手当が出る」と云い出した

更に悪質なものになると、以前組合の執行委員だつた池田純一郎という男は「組合は、合化労連からあやつられて甲斐ない闘いをやつている」とまでデマをふりまいた

説得あの手この手

説得は、第一次組合員投票と相前後して始つた。職制が直接従業員を集め、課長が右のデマをふりまいた職場がある。これを、事もあろうに組合の支部長に命令して支部総会を招集させてやつた職場がある。又は職長、工程責任者、あるいは支部長、闘争委員などが課長に呼ばれ、それとなしに支部の全従業員に対して説得するように要請された職場がある。更に係長が、一々各工程を廻つて従業員に甘い言葉でさゝやいた職場もある

宣傳、職組が一手引受け

今、三染職員組合は完全に職制の手中にあるが、その機関紙〝三しよく〟が、デマ宣伝で忠実に職制に奉仕した。ひどい例になると、B工場の係長の石田という男は「今度公文書が来て、七月賃増は既に手配中」など、全く驚くべきデマを壁新聞に書いてはり出した

奥の手の懐柔

職長や、工程責任者、あるいは支部長や闘争委員等が課長又は係長の家に招かれた職場がある。酒があつた。ごちそうがあつた。タバコのピースがふるまわれた。

オドシ…いや恐喝

ある職場の工程では、係長が「君はストに賛成か反対か」と一人一人について聞きただして歩いた。

又、他の職場では、支部総会などで、一寸積極的な発言をした者はすぐ様、課長や係長から呼びつけられてひどく油を搾られた。

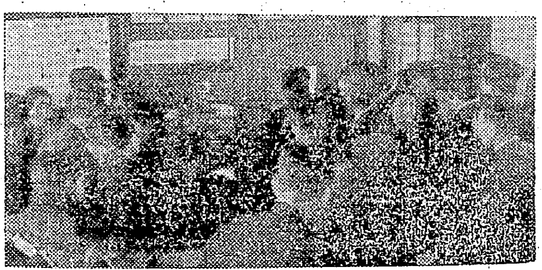
露骨に出たB工場　職制支配の封建性

課長―係員―係員上層　という道を通して支配して来る典型的な職制は、職場の広い組合員の中に手先をつくり、職場生活を監視し、支部総会などにおける自由な発言を封ずるどころか、組合の機関の討論における支部出身の闘争委員や総会員の発言さえ監視した。

特にB工場の職制は、日ごろオトナシイ顔つきをしている平係員さへ、さて対立して来ると、例えば写真を撮りにいつた一臨時指導部員に食つてかゝつた馬立係の様に顔色を変え、ブル〳〵身をふるわし、まるでゴロツキの様な形相で立ち向つて来るわけである。

だからこそ又、こゝの工場支部の組合員の闘争意欲はかえつて根強く、その八〇％―九〇％が将来の力強い立ち上りを約束していよう

それにしても職制が、おぼれる者ワラをつかむ様な生活苦にある労働者の切実な要求―生活上の犠牲は極力避けて一文にでもありつこうとの人間的弱点―をつかんで来た点は注目されなければならない



いばる職制もペシヤンコ

平生ふんぞり返る職制もみんなで押しかけたら、ナマコのようにペシヤンコになつちやつた

（写真上）昨年末、十番線問題で　国鉄組合員が「幹部まかせではダメだ」と駅長室にみんなでおしかけ、デモで要求貫徹（写真下）昨年末の三池炭労首切り闘争の勝因をつくつたといわれる職制の祭りあげ

とりもどした明るさ

とうとう職制にうちかつ

國鐵

以前、大牟田駅のスピーカーは暇さえあればタイヘイ的な流行歌の切ないメロディーを放送していた。ところがこの頃は、盛んに〝メーデー歌〟等の力強いメロディーが流れ出している。これは大牟田駅の国鉄労働者が、昨年の職場闘争で職制にうち勝ち、職場生活における自由と諸権利を実力でもつて飛躍的に拡大した賜である。

事の起りは炭労スト

昨年九月だつた。炭労ストで三井鉱山専用線がストツプした為、東洋高圧の肥料輸送がむずかしくなり、遂に大牟田駅の十番線から輸送を始めた。それは当然に、機関区、客貨車区、駅などの各現場に働く従業員に不当に重い労働を果す結果となり、貨車の入れ換え作業は非常な困難を極めた。労働者はヘト〳〵に疲れて来たのである

大牟田駅運区分会の闘争委員会は勿論これを放つておけなかつた。闘争委員会は、連続的に会議を開いて丹念に当局の処置の不当を追求する資料を集めるかたわら、駅長と交渉し、又組合員をどうしたら立ち上らせることが出来るか、について討議を進めていつた。

闘争委員は皆非専従であり、徹夜で勤務した翌日の非番と、一週一回の公休日、及び祭日等の勤務時間以外は全て組合活動に専念するという、まさに不眠不休の闘いが続いた。これが組合員をしてまず「輸送の問題を、闘争委員にだけまかせておいて知らぬ顔をしていることは出来ない」と言い出させたのである。

闘争委員は経過報告に廻る。次に行動方針を出していく。情報はヒツキリなしに各職場に流す。駅長との交渉は毎日続けられる。こうした中で、総決起大会は開かれた

みんなで團交

十二月二日、関係従業員を中心に上りホームで大会が開かれた。この大会で「十番線の使用は危険であると同時に、過重労働となるので、その使用を即時中止させる」ことが満場一致できまつた。

大会はデモにうつゝて、その勢いで駅長室になだれこんだ。早速駅長を取り囲み、規定違反の責任と職員の過重労働に対する責任を追及し、十番線の積み込み作業を、即時中止することを申入れた。

その前日、駅長は闘争委員に向つて「君達はそれでも国鉄職員か」等と高飛車に出ていたが、この大衆交渉の前には全くピク〳〵して遂に本日十三時から十番線の積み込み作業を中止する旨言明した。

そのほか、臨時作業手当一人当り六千円以上を局長に要求する等の数項目にわたる協定書に捺印した

その次の日、上司からの矢の様な圧力と脅迫に屈した駅長は、一切の約束を棚上げし、十三時、一方的に現場に対して積み込みの再開を命令して来た。

職場全体の闘いへ

再び闘争は開始された。闘争委員の二人が、駅長室の前に座り込み組合員は、組合から作業再開の指令を受取つていない、とこれを拒否して闘つた。だから、駅長の命令は空中分解してしまつた。

ネバリ強い闘いは、最後に、増員と臨時作業手当をかち取り、以前は五十台から八十台積みこんでいたのが、今は十台から十五台位までに減り、過重労働は消えた。

更に、何よりも輝かしい勝利、職制をして、もう勝手なことを出来なくした点で、現場職場は非常に明るさをとりもどした。首切反対闘争に見られた三鉱労組の場合と同じように、この国鉄大牟田分会の闘争は、職制が文句のつけようがない位豊富な資料で充分準備されたことゝ、又何よりも闘争を、最初は闘争委員だけのグループの献身的な闘いから、最後には全体のたくましい闘いに至るまで、低きから高きへ一歩々々ネバリ強く発展させていつたところに勝利がもたらされている点、学ばなければならない。

メーデー平和詩集

◈前夜祭までに發行◈

文学ひろば〝詩研究会ではメーデーを前にしてぜひメーデー特集号をつくりたいという空気が高まり「メーデー平和詩集」として前夜祭当日販布する。これは大牟田で、はじめてのこゝろみであり、労働者だけでなく市民、学生、農民層をも網羅したものをつくる。

前夜祭で上映

首切反対闘争記録幻灯を製作

さきに大地評・文連協・映文協では炭鉱首切反対闘争を舞台に記録映画製作がすすめられ、すでに昨年十一月の反ファッショ大会、首切反対闘争勝利直後の歴史的な復帰デモなど二巻が出来上つている（すでに荒尾名画座で上映）これをメーデー前夜祭までにぜひ完成させる計画だつたが期間の都合上間にあわないので、幻灯にして製作することになり、さきの三鉱運「地底の怒り」をしのぐ力作をつくろうと関係者一同張り切つて製作をすゝめているので、メーデー前夜祭（日）には上映出来るもようである。

また、同時に劇団ぱぐるまの集団創作劇「腕をかえせ」の幻灯化（天然色）の話も出ており、これは本物の社宅を舞台に、劇団員の演技によつて製作しようというもので、前記記録幻灯とはまたちがつた味のある作品が出来上るものと期待されている

なお関係者はこの二本の幻灯が出来上り次第全国に紹介したい意向をもらしている。

活潑な文化活動

楽団や機関紙の誕生

宮浦支部　三池炭労

三池炭鉱労組宮浦支部は吹奏楽団の組織や多数の機関紙の発行で、他支部に見られぬ文化運動が特に目立つている。機関紙だけでも炭婦協朝日ケ丘支部の「よあけ」同地域分会の「歩一歩」紅葉ケ丘分会の「すくらむ」同山岳会の「やまじ」同短歌会の「やぐら」その他不定期の発行紙を入れると相当数にのぼつている。

また同支部の楽団は今までメーデーや決起大会、社宅の慰安行事に進んで参加していたが、さらに規模を大きくするため、同支部から約八万円の補助を受けたので近くバリトン、アルト、トランペット、クラリネットなど管楽器を購入する。今月末までに陣容を整えたうえ、五月初めには演劇、舞踊、歌などと共に総合発表会を行う予定。

竹下鐵工　組合結成

柳川市本町の竹下鉄工所（従業員三〇〇名）に四月十日労働組合が結成された。同鉄工所は農村用トラクター専門の工場で、終戦後の混乱した時代から今日を築き上げた新興会社である。

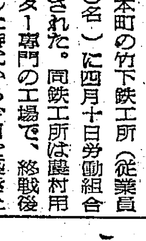
杉野組合長談

赤玉の争議や日頃の不満が強く影響して結成を見たことは喜びに堪えない。御用組合にならぬよう、中小企業にふさわしい組合に育てたい。

巾廣い闘いを

炭婦協代議員會で討議

三池炭婦協の第二回代議員会（総会に代る）が廿八日午前十時から三鉱本所体育館でひらかれる。予算決算、行動方針、役員改選と共に規約規程の改正が主議題であるが、その主な改正点は、現行の評議員会（支部長と本部役員で構成）を幹事会（正副支部長と本部役員で構成）と改め、役員会（本部役員のみ）を新設、本部役員の兼任を認めず、より活発な組織活動を期して居るが、これについては時期尚早だとの意見もあるので、最終的には廿四日の分会長会議で案がまとめられる。尚本年度行動方針では特に闘争と併行して主婦としての内面的な行事の充実が図われ、平和を守るための運動が一層強調されている。



若き親衛隊

＝ソヴエト映画＝

炭労自主映画〝女ひとり大地を行く〟がソヴエト同盟に輸出されたが、その見返りに、このほど〝若き親衛隊〟がおくられ、いま全国で封切られ話題をまいている。当大牟田での封切りは恐らく七月ごろになる予定。この映画は一九四八年度劇映画部門スターリン賞第一賞をうけた。

大祖国戦争でソヴエト国民はファシスト侵略者と英雄的にたたかつた。占領された町や村では、パルチザン活動が組織され老人や、子供までの全国民が抗戦に立上つた。「若き親衛隊」に描かれた現実は、大祖国戦争の時期に実際に起つた事実である。一九五二年七月二十日、ドイツ軍は、ドンバス地方の小都市、クラスノドンを占領した。ドイツ占領軍のソヴエート市民に対する圧迫、迫害、残虐行為が始まつた。八月には、ファシスト官憲は、町の公園で五十八名のソヴエート人を生き埋めにした。このようなファシストの残虐行為を憎み、ソヴエート体制を護りぬこうとする激しい欲求が、この占領下の町の少年少女たちの間に生まれ、三人の少年二人の少女を中心として、五十余名の青年男女たちが「若き親衛隊」を組織し、英雄的な抗独パルチザン地下活動を行つた。この組織はその后四ケ月にわたつて活躍したが、一九四三年一月、ソヴエート軍が反撃してこの町を奪回し解放するわずか一ケ月前に、その組織が発覚し、その隊員の大部分は処刑され、この組織に加わつていた百三名のうち、生き残つたものは僅か八名にすぎなかつた

通勤者同盟を育てよう

柳川、中島などの通勤者の間で、自転車預り料金の改正、電車、バス、国鉄などのダイヤ改正など通勤者の利益になるためにと、さる三月から通勤者同盟を結成しました。現在会員は百五十名ほどで、通勤者からの投書、交渉経過の報告などを中心に機関紙「通勤者の友」を出して連絡しあつています。さらに映画の割引、指定店の設置なども始めました。

こんどは各労組とも話し合つて、一緒に通勤者のいろ〳〵なナヤミや不便な問題を解決していきたいと思います。どうか御協力下さい。

（柳川通勤者同盟）

「共同糞尿ダメ」を！　小さい便壺に悲鳴

三池染料工業所の柿園社宅の一部では、決して少くない家庭の主婦が糞尿の処理に困つている。

これは、各家々の便壺が小さいために、すぐ一パイになつて外にあふれそうになる。かといつて、その量は農家の一荷分にも足りない位で、月に何回となくしげ〳〵と足を運ばなければならないためかたとへ附近の農家へ有料で汲み取りを頼んでも、仲々来てはくれぬ。その実同社宅の共同便所の方は結構汲み取つていつている。

仕方がないから、小さい便壺を当てがわれている家の主婦は、夜中にコツソリと、適当な場所を探しては穴を掘り、こゝに糞尿を埋めなければならない。だからそれらの主婦達は、糞尿が溜るにつれ胸を痛め、これが処理を苦面するのに四苦八苦の態である。この問題について、同社宅の一主婦は次のように意見を出している。

「とりあえず、鉄道線路に近い辺りの、空地を利用して共同糞尿溜をつくつてもらつたらいゝと思います。セメントで大きなものをつくれば、皆がそこえ棄てるでしよう。そうするとお百姓さんにしても喜んで汲み取つていつてくれるに違いありません。子供達の遊ぶに危い、といのなら、しつかりしたフタをしたらいゝと思います」

現代日本の諷刺喜劇

「狂宴」

日本の古い歴史を秘めた美しい街奈良が敗戦直後、米軍の基地になつて寺社仏閣と乱立するカフエーパンパン宿の町となつた。敗戦日本の悲しい喜劇である。映画はこの奈良を背景に赤線基地の生態を冷静に描こうとしている。家代々の農民が田地田畑を売りはらつて米軍相手のカフエー兼パンパン宿を開業する。三島雅夫と望月優子の夫婦は無智な金もうけを派手にするが、中年女の望月はペーテンと密通、女学生の長女（中原早苗）は不良少女となり、家庭はメチヤメチヤになつてしまう。米兵に暴行されて自殺に追いやられる娘も点描されて、ジャズと酒と愛慾の狂宴の中に、基地の現実をうつたえている。監督関川秀雄。

（28日から荒尾名画座）

「入場税撤廃」を

映文協ではさきの常任幹事会で入場税移管反対問題のその後の情勢について検討した結果参院に全力を集中することになり、また興業組合長林田氏の要請もあり十五日参院地方行政委員長（左社）及び地元出身の参議阿具根登氏に対して法案阻止に全力をあげてもらうよう激励電をうつた。

なお益々深刻化する疑獄事件により参院の審議は未了になることもあり得るもようである。